

京都洛西の紅葉を楽しもう (活動報告)

担当 5 班

【日時】 令和 6 年 (2024 年) 11 月 22 日(金)

【天気】 晴れ

【参加人数】 6 6 名

【集合場所・時間】

- JR 桂川駅 9 時 55 分
- 阪急洛西口駅 10 時

【行程】 JR 桂川駅 <10 時 10 分と 13 分発> →  → 阪急洛西口 →  → 南春日町下車 → ならかな登り坂(400m)  → 勝持寺 (昼食・班長会議) <12 時 15 分発> → 大原野神社 → 正法寺<2 時発> →  → 洛西バスターミナル<解散 2 時 40 分> ※阪急、J R の遅れにもそれぞれ対処し、全員参加できた。

【活動目的】 紅葉を楽しみながら、自然や文化に触れ、洛西の古刹への見識を広げる。

【活動内容】

1. 勝持寺 (しょうじじ): 「花の寺」 「西行桜」の「花の寺」勝持寺は、秋の紅葉も楽しめます。山あいの閑静な雰囲気、兵火を唯一まぬがれた仁王門の風情、瑠璃光殿や庫裡周辺の染まりゆく紅葉を楽しみました。境内から長いと思わせる参道が続き、かつて多くの塔頭を擁した勝持寺の規模をうかがい知ることができました。
2. 大原野神社 (おおはらのじんじゃ): 「京春日」 小径の抜け道を通り、紫式部ゆかりの「大原野神社」へ。約 200 メートルの参道は間もなく紅葉のトンネルでしょうか。「京春日 (きょうかすが)」の別称があり、中宮彰子が行啓し御父左大臣藤原道長、紫式部以下がお供をしたそうです。神様のお使いは狛犬ならぬ狛鹿でした。樹齢 500 年の「樅の神木跡の潜り込み」はそら組人気の場所でした。鯉沢池に架かる橋と睡蓮は、クロード・モネによる名画「睡蓮の池と日本の橋」とそっくりでした。まっすぐに伸びる約 200m の参道は、古の風情が漂い、色づきつつある紅葉が美しく映えました。
3. 正法寺 (しょうぼうじ): 「西山の御大師さん」「石の寺」 桂昌院の帰依を受けた徳川家の祈願所です。御本尊の三面千手観音さまは、顔の両側には過去と未来を見通す別の顔が 2 つある三面形式で、まるで万博「太陽の塔」のようです。東山連峰借景式枯山水庭園の「宝生苑」は「鳥獣の石庭」と呼ばれ、フォトジェニックでした。お堂の畳に座って疲れた体を休めながら眺めました。15 種類の動物は言われてみればそれなりにでしたね。境内や庭園には、200 トンを超える多数の巨石が配置されており、まさに「石の寺」でした。

【成果・感想】

- 紅葉と文化財の両方を楽しみ、歴史を背負う古刹の魅力を再認識できました。
- 勝持寺の紅葉は今一つでしたが、静寂な空間が日常を忘れさせるひとときとなりました。
- 各寺社の歴史や由来について知り、京都の文化への興味が深まりました。
- 見頃の紅葉、春の桜や初夏の新緑も楽しみたいですね。
- 京都洛西の紅葉巡りを通じて、自然の美しさと文化の奥深さを感じ、心豊かなひとときを過ごすことができました。
- 大原野神社は紫式部や源氏物語の世界。「モネの絵」似の風景といい、今注目の神社でしょう！
- 正法寺は千手観音や走り大黒天、鳥獣の庭といった特色があり、副住職の説明も上手く大変好評でした。

【写真】



勝持寺 仁王門



大原野神社
樅の「神木跡」



大原野神社
モネの名画そっくりさん



正法寺 鳥獣の石庭